

各位

富士石油株式会社

## 国土交通省『輸入ニート SAF モデル実証事業』への参画について

当社(代表取締役社長:山本 重人)は、伊藤忠商事株式会社(代表取締役社長 COO:石井 敬太、以下「伊藤忠商事」と)、国土交通省航空局が進める『輸入ニート SAF モデル実証事業』に協力して参画することに合意しましたので、お知らせします。

本事業では、伊藤忠商事がNeste OYJ社(CEO:Matti Lehmus、以下「Neste社」)より国内で初めてニートSAF(※1)を輸入し、当社は袖ヶ浦製油所の設備で輸入ニートSAFをジェット燃料と混合しSAF(※2)を製造します。混合SAFは一部数量を中部国際空港へ搬入し、国土交通省航空局が所有する飛行検査機へ供給されます。ニートSAFの輸入は1月頃を予定しており、混合SAFは2月頃に中部国際空港に搬入される予定です。

国際民間航空機関(ICAO)総会では、航空機が排出するCO<sub>2</sub>を50年までに実質ゼロとする目標が掲げられ、24年以降は19年比で排出量を15%減らす若しくはオフセットすることが求められるなど航空業界に於ける脱炭素化の動きはより一層加速しております。

日本国内においてSAFの安定供給を実現するためには、中長期的な国産SAF生産体制の樹立とともに、輸入SAFの国内でのサプライチェーン拡充が重要と位置付けられています。本事業において、日本で初めてニートSAFを輸入し空港で利用するまでのサプライチェーンを実証することは、ニートSAFの国内での取り扱いノウハウを蓄積し、将来的な輸入・国産SAF普及への基盤整備に資するものであります。

当社は、中期事業計画の基本方針として「石油精製事業の更なる基盤強化」と「脱炭素社会に向けた取組強化」を掲げており、事業を通じて社会に貢献しながら持続的な成長を目指す企業として、今後もSAFを含む次世代バイオ燃料の供給など低炭素社会への貢献に向け積極的に取り組んでまいります。

(※1)ニートSAF:バイオマス原料等を基に製造され、国際規格であるASTM D7566 Annex1~7のいずれかに適合する合成ジェット燃料油を指す。航空機に搭載するためには、原料および製造方法により決められた割合以下で化石由来のジェット燃料と混合する必要がある。Neste社製のニートSAFは50%まで混合することが可能。

(※2)Sustainable Aviation Fuel(=持続可能な航空燃料):ニートSAFと化石由来のジェット燃料を混合し、国際規格であるASTM D7566 Table1およびASTM D1655に適合するジェット燃料油を指す。

以上

問合せ先: 総務部 IR・広報グループ  
TEL: (03)5462-7803  
(URL: <http://www.foc.co.jp/>)